

# 2025年3月

## ぶれない軸

先日、ジャズの生きる伝説と言われる渡辺貞夫さん（ナベサダ92歳）のライブコンサートに行ってきました。私が大学生の頃に大ヒットしたカリフォルニアシャワーというジャズとカリブ海音楽がミックスした曲の作曲家でサクソ奏者ですが、この御歳でまだ現役で活動されています。若い時にアメリカでジャズの理論から実践までしっかり学ばれていますが、私が持っている一番古い音楽関係の本でナベサダさんが書かれた「ジャズスタディ」（1970年出版）という本があります。そこに書かれた基本軸の周りにアフリカなどの様々な地域の音楽を散りばめて進化されてきました。そして今回のコンサートも全く古臭くなく、昔の曲は一曲も演奏されず、若者たちと新たな音楽を作られていました。そのぶれない軸は優しく力強く衰えない音に感じられました。

そこで、自分の軸とは何だろうと自問してみますと、改めて大切なことに気づかされました。仕事だけではなく家庭や社会との関わりの中にもそれぞれに軸があると思いますが、普段はあまり意識しません。私の場合は医学部に入った時点から臨床医を目指しましたが、脳神経を中心とした臨床を行なうという仕事上の基本軸があります。その軸は若い時には細くて頼りなく、今にも折れそうでしたが、経験を積むことで丈夫で安定していったように思います。しかしその軸は周りの様々な事柄で揺れてきました。軸をぶらさずに生きるということは容易いことではないと思います。

ぶれない軸とは心身を一定に保つことでもあります。フラフープというお腹で回す遊具がありますが、子供たちはぶれずに何気なく簡単に回します。ところが大人になるとうまくいきません。心身の硬さや雑念がじゃまをして軸がぶれるのです。単純なフラフープでこうですから、複雑な人生の軸はなかなか安定しません。一日中何かと惑わされることがありますが、頑固一徹でもなく優柔不断でもない柔軟な心を保って、周りに左右されない自分軸を育てていけば、穏やかに力強く生きて行けそうに思います。

